

吉田春秋

令和8年
第76号
2月発行

[発行] ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会)

[印刷] 株式会社ニチコミ名古屋市中村区名駅南1丁目20-12 ヨンゴービル4階 TEL 052-485-4645 <https://www.nichicomi.com>

第62回 豊橋市高齢者福祉大会

令和7年11月27日(木)、第62回豊橋市高齢者福祉大会が豊橋市公会堂にて盛大に開催されました。

はじめに、長坂市長及び市老連の今川会長よりあいさつがあり、参加された皆さまに感謝とお祝いの言葉を述べました。

式典では、結婚50周年となる金婚60周年となるダイヤモンド婚を迎えられたご夫妻を祝福し、代表夫妻2組に、市長から祝詞が贈呈されました。

会場からは長年にわたる人生の歩みに大きな拍手が送られました。

第2部では、アトラクションとして、花男子による『感動の花贈りパフォーマンス』が披露されました。

花男子は「全国各地で花を贈りまくる集団」として活躍中です。

当日も参加されたすべてのご夫妻にミニブーケ(社会福祉協議会より)が手渡され会場は素敵な笑顔と感動に包まれました。



ダイヤモンド婚
菌田佳美・慶子ご夫妻



金婚
安井康二・陽子ご夫妻



ダイヤモンド婚
杉浦公夫・慎ご夫妻



金婚
高橋正行・里江ご夫妻
※旧字体が正式名称



日頃の感謝を込めて
会場全体で花贈り

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

新年のごあいさつ



ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）

会長 今川 智嗣

新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃よりゆたかクラブ豊橋の事業にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、昨年は「囲碁・将棋大会」「ゲートボール・ペタンク大会」「グラウンド・ゴルフ大会」「ゴルフ大会」「ボウリング大会」に多くの皆さまのご参加をいただき、盛大に開催することができました。また、「趣味の演芸大会」は近年参加数が減少傾向にありましたが、令和7年度は昨年度よりグループ・参加者数共に増加。賑わいを取り戻し嬉しい限りでした。来年は本来の開催場所である文化会館の改修工事が完了する予定のため、「趣味の作品展」と合わせて盛大にシニアフェスティバルを実施できることを楽しみにしています。

10月には大府市で「愛知県老人スポーツ大会」が開催され、ゆたかクラブ豊橋からも代表者が参加しました。同日同場所開催のグラウンド・ゴルフは残念ながら雨天のため中止となりましたが、マラソン競技とポッチャの参加者は雨の中それぞれの競技で奮闘し、互いの健闘を称え合いました。

11月には高齢者福祉大会を開催。この大会で

は毎年、金婚・ダイヤモンド婚を迎えるご夫妻をお祝いしており、今年度は私自身も結婚60周年のダイヤモンド婚を迎えた夫として参加しました。これまで会長職として出席していたとはまた違った心持ちで参加し、自分を含め参加夫妻のこれまでの50年、60年の年月に思いを馳せました。

その他、ゆたかクラブ豊橋ではサロンや公園の清掃、一人暮らしの高齢者訪問、多世代の交流行事などを地域に根差した活動をたゆまず続けています。こうしてゆたかクラブ豊橋が地域の一員として認められているのは、皆さまに日々ご尽力いただいているおかげだと考えています。感謝の念に堪えません。

2026年は昭和元年から数えてちょうど満100年にあたるそうです。昭和という時代は戦後復興、成長、そしてさまざまな文化が開いた日本の歴史において重要な時代でした。この節目の年に、長い歴史を振り返りつつ、新たな未来への一歩を踏み出してみましよう。ゆたかクラブ豊橋も歴史と伝統を大切にしながら、これからの活動をさらに広げてまいります。

結びに、本年が皆さまにとって、希望あふれる年になりますように心より祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

第48回 趣味の演芸大会

練習成果を披露、
盛大な拍手が送られる



令和7年10月24日（金）に豊橋市公会堂にて開催しました。17組185名が参加し、日頃の練習の成果を十分に披露しました。聴き馴染みのある歌謡曲に加えて、素敵な衣装やダンスも楽しめ、充実したひとときとなりました。



私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

スポーツ大会結果

高齢者に適したスポーツを通して、健康維持や生きがい高めながらお互いの親睦を深める一日を過ごしました。(敬称略)

第49回 ゲートボール大会

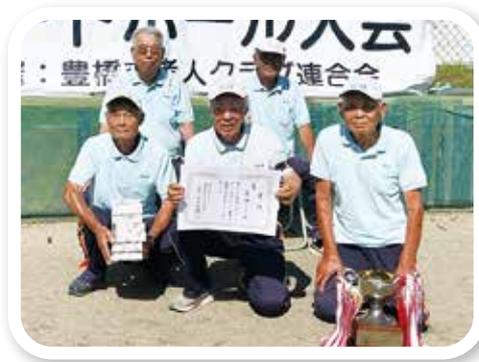
■令和7年10月2日(木)
■東田球場

参加チームを2ブロックに分けて実施し、順位は勝数・得失点差・対戦成績及び得点率により決定。31名(6チーム)が参加し、白熱した戦いが繰り広げられました。



■大会結果■

順位	チーム名
優勝	高山チーム
準優勝	玉川チーム
第3位	小沢チーム



優勝した高山チーム

第27回 パタンク大会

■令和7年10月2日(木)
■東田球場

予選リーグ戦を行った後、勝ち残った14チームにより決勝トーナメントを行いました。123名(41チーム)で行い、声援が飛び交いました。



■大会結果■

順位	チーム名
優勝	富士見C
準優勝	福岡B
第3位	小沢B
第4位	富士見B
第5位	津田B
第6位	磯辺A
第7位	福岡D
第8位	細谷



優勝した富士見Cチーム

第13回 ゴルフ大会

■令和7年11月6日(木)
■新城カントリー倶楽部

98名が参加し、大いに盛り上がりました。大会は9ホール(ダブルペリア方式)で行いました。



■大会結果■

順位	氏名	校区名
優勝	遠山 辰男	芦原
準優勝	古川 範明	富士見
第3位	藤井 義徳	植田

ドラコン賞

コース	氏名	校区名
北コース6番	藤井 義徳	植田
東コース9番	藤山 島子	高師
南コース3番	大桑 忠	大清水

ニアピン賞

コース	氏名	校区名
北コース3番	澤田 寿夫	植田
東コース2番	高木 孝司	大崎
南コース4番	森田 敏勝	富士見



優勝した 遠山 辰男さん

第27回 グラウンド・ゴルフ大会



■令和7年11月13日(木)
■石巻運動広場

赤・青の2コースに分かれて男女別個人戦、16ホールの合計打数をもって競いました。236名という多くの参加者がプレーを楽しみました。

■大会結果■

総合優勝 男子の部 村上 博幸
女子の部 加藤ひさ子

コース	順位	氏名	スコア
男子赤コース	優勝	武田 勝昭	32
	準優勝	坂柳 武彦	32
	第3位	鈴木 正宏	35
男子青コース	優勝	村上 博幸	33
	準優勝	森田 信夫	34
	第3位	熊谷 勝美	35
女子赤コース	優勝	梅原 咲子	32
	準優勝	内藤 尚美	35
	第3位	町田 幸子	36
女子青コース	優勝	加藤ひさ子	38
	準優勝	伊藤 晴代	38
	第3位	彦坂美智子	39



総合優勝された村上さん(左)と加藤さん(右)

第13回 ボウリング大会

■令和7年12月17日(水)
■岩屋キャノンボウル

90名(18チーム)が参加して行いました。2ゲームの合計スコア(団体は1チーム5名、同スコアの場合は2ゲームの得点差が小さい方が上位となります。)

■大会結果■



団体の部で優勝された新川チームの皆さん

団体の部		
順位	校区名	スコア
優勝	新川	1525
準優勝	天伯	1404
第3位	吉田方A	1360

個人の部(男子)			
順位	氏名	校区	スコア
優勝	松下 賢一	新川	367
準優勝	林 良廣	天伯	356
第3位	木本 秀次	新川	345

個人の部(女子)			
順位	氏名	校区	スコア
優勝	大羽 孝子	牛川	312
準優勝	白谷 和子	多米A	284
第3位	岩瀬 啓子	新川	282



個人の部で優勝された大羽孝子さん(左)と松下賢一さん(右)



※上記の賞以外に、飛び賞(10位ごと)、ブービー賞を贈呈しました。

芦原
校区

秋の日帰り親睦旅行

船盛御膳とダンゴ焼体験・ わさび・茶飴詰めの旅

芦原校区老人クラブ連合会

伊藤 公満

10月22日(水)。誰も泣かせたつもりはないが朝からの雨、それでも32名のバスは焼津へ向けて進行。

幸い雨も大降りにはならず、どこもイベント会場の入り口までバスが着き、傘を使う所は少ない。「茶飴詰め」や「わさびのつかみ取り」等の体験をする。途中で食べきれないほどの豪華昼食。

最後は島田市の(大井川鉄道の門出駅近く) KADODEOOIGAWA (門出大井川)でSL11型312号機(20年程前まで、運転。今は復元して展示)をバックに記念撮影。

その後ダンゴ焼体験。熱々のダンゴを食べ、すぐ近くの県下最大級の道の駅「門出」でお土産をゲット。

終盤にはビンゴ大会で賑やかに。どの休憩でも、出発時間には全員揃って予定時間には無事に豊橋に。楽しかった、短い一

日でした。

行く間に風邪で臥せってしまった方もいました。異常の気候ですが、どうか皆さんもくれぐれもお体ご自愛ください。お元気で。



私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています



杉山保育園児との昔遊び

杉山校区老人クラブ連合会

中神佐和子

7年11月4日(火) 杉山老人クラブ11名で杉山保育園を訪問し、園児23名と一緒に昔遊びを楽しみました。

紙飛行機づくり、コマ回し、お手玉、おはじき、あやとり、それぞれ数名ずつのグループに分かれて行いました。

私はお手玉を担当しました。最初はお手玉を軽く上にあげたり、それを掴んだりして遊んでいましたが、そのうちに積み上げて遊び始めたのでじゃんけんをして一人1個ずつ積み上げました。

子どもの想像力に感心するとともに私たちも楽しませてもらいました。

紙飛行機は小さくさまざまな飛行機ができて、飛ばしっこをして賑やかに楽しんでいました。コマ回しはひもの巻き付けがなかなか難しく苦労して回していました。おはじき、あやとりもみんな真剣に取り組んでいました。

その後、しりとりやゲームをして楽しみ、最後に子どもたちと手をつないで大きな輪になりラジオ体操をして終了です。
私たちはかわいい子どもたちから元気をもりました。
今も私の手のひらには小さな手のぬくもりが残っています。



おはじきに熱中している子どもたち

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

花田校区

地域の元気の源
花田老人会

花田校区老人クラブ連合会

二橋 明子



秋の訪れとともに花田校区老人クラブは、ますます元気です。

スポーツでは、牟呂ブロックスポーツ大会、市老連老人クラブスポーツ大会（ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフ）、花田校区ボッチャ大会などに汗を流し、笑い声がグラウンドいっぱいに広がりました。競技の結果よりも仲間たちに声をかけあいながら楽しむ姿が印象的でした。

文化面でも、花田市民館祭の作品展では折り紙で季節を表す作品、花田小1年生にプレゼントした「交通安全赤・黄・青」お守りグッズ、編み物作品などの展示に多くの来場者が足を止め、鑑賞してくださいました。その間、老人会役員は、甘酒をつくり、来場者の方々に次々と配っていました。「ありがとう」「どういたしまして」の声のやりとりは祭りの温かい光景のひとつとなりました。

演芸の出演「二胡を囲って、合唱」「ハツラツ体操」等緊張しましたが、客席からの温かい視線と手拍子で、自信をもっていきいき

と演じることができました。

ほんとうに今年の秋はスポーツ・芸術を花田老人会全員満喫することができました。行事がある度に、65歳から91歳の会員たちが若者に戻ったかのようにそれぞれの持ち味を生かし、笑顔で活動する姿は、傍から見てもキラキラ輝いています。また、地域の元気の源となっています。

今後も、花田老人クラブが、地域の中に溶け合って、元気な姿で、笑顔の絶えない交流の輪が広がっていくことを願っています。



私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

大清水
校区

楽しかった
秋の親睦旅行

大清水校区 第二きさらぎ会

花井 博行



10月31日(金)、三河湾リゾートリンクスの昼食、温泉入浴の日帰り旅行に行ってきました。途中、トイレ休憩で「道の駅筆柿の里・幸田」に立ち寄り、次の目的地は有名な「小説家尾崎士郎記念館」と隣接した「旧糟谷邸」の見学です。

ここで尾崎士郎という人物について資料を元に説明します。明治31年(1898年)、今から127年前に旧幡豆郡横須賀町(現西尾市吉良町上横須賀)の裕福な商家「辰巳屋」の三男として生まれました。昭和8年「都新聞」に「人生劇場」青春篇を連載し大ヒット。昭和39年(1964年2月19日)に自宅で永眠。享年66歳。

また、隣接した「糟谷縫右衛門家(旧糟谷邸)」は家の中の説明を読むと、地方の大地主の家として当時のまま現存しているもので「愛知県指定文化財」になっています。

見学を終え、本日のメイン会場に移動しました。昼食をとりながら少しお酒も入ってきて、大変盛り上がり、なかにはカラオケや踊

りもする人が出てきました。

最後全員で恒例の「星影のワルツ」で締めとなりました。時間がきましたので、三河湾リゾートリンクスを後にし、最後の目的地、ラグーナ蒲郡に向かいました。皆さんお土産を両腕にかかえてバスに乗り込みました。

全員無事に帰ってこられたのも一人一人が行動に気をつけてくれたからです。おかげで楽しい日帰り旅行ができました。

今後も皆さんと楽しい旅行ができるように考えていきたいです。



私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

牟呂八幡宮の社守

牟呂・汐田校区 外神豊寿会 鈴木喜久男



牟呂八幡宮の社守を務めています。3年任期の6年目で、この3月で終わるはずなのですが、困ったことに後継者がいない。4月の例大祭の神幸祭が危うい。

3年前、外神が牟呂八幡宮の社守を出す番になった時、コロナで神幸祭が中止されたため、経験者がいなかった。そのため、白羽の矢が立ち、2回目の社守を引き受けた。

実は外神の氏神様の八所神社の社守もしていて、その上に牟呂・汐田全体の氏神様である牟呂八幡宮の社守をしているのだから、厚かましい。

外神豊寿会という老人クラブの会長をしており、こうして今、吉田春秋の原稿を楽しく書いていたのだが、ゲートボール協会の会長も引き受けている。楽しさ倍増、気分はルンルンなのだが、果たしてこれでいいの？教えて神様、どうしたらいいの？

今の世の中、楽しんだもの勝ち、楽しくやっているのが一番という風潮なので

いいかな。牟呂八幡宮といえば、ええじゃないか豊橋の発祥の神社であり、無形文化財の神事相撲の神幸祭を行なう由緒ある神社である。なのに、この名誉ある、神社の社守の引き受け手がいないなんてあり得ない。おかしい。

あ、あ、あ、ため息交じりの冬が過ぎて、桜の蕾がほころぶ3月に、私はどうしているのかな？『ゲートボールと神様と、どっちが大事なの？』と言われていたのかな？



私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

「老いて」

天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会 西川 誠

73歳で定年を迎えた。今では月1回女房とともに病院通い。当院とは何十年來のお付き合い。結婚してこの方、55年余になる。いろいろと健康管理にも無理を聞いてくれる。この間も女房が、お父さん近頃物忘れが激しいとこぼした。じゃ、認知検査をしてやろうかと。これには少々怒った(笑)? 身内に近いほどのお付き合い。私のガンを見つけてくれたのも先生。足をむけて眠れない。先生の自説ですが、人の命と幸福は医療だけでは救えないんだと! 感謝の言葉は尽きない。

家庭にあつては週数回のゴミ出し、女房が父さんやることがないからと、強制的に日課にされた。ゴミを出す道中は通学路になっており小学校の子どもたちとの挨拶、こちらが元気をもらう。また、近所の人との顔合わせ、まず挨拶が「元気ですか」の一声、老人への気づかいか! 立ち話をし、いろいろと花を咲かせて帰る。

町内の老人会にも入っている。会員は80名程度、その中の11名で週1回のグラウンド・ゴルフを楽しむと同時に市の大会にもエントリーしている。また、月1回程度の呑み会、

わいわい、がやがやと、昭和の名曲まで、賑やかだ。天伯は郷土愛が強い。

そう、最近一念発起、囲碁クラブに入った。楽しい80代に!! 86歳になったんだなあ、焦りのようなものも出てきた。ほとんどが同年輩だが、総じて老春の人が多い。碁歴は長く自称昭和の名人たちだ。アドバイスを受けながらの日々、勝負はなかなか勝たしてくれない。若き日の武道を想起する。おい少々手加減してくれないか! ドヤ顔で、俺は何十年もやっているんだぞと、10年早い! と意地が悪。だが老いの一念すっかり囲碁にはまってしまった。俺にもいまだ、こんな意地が残っていたか!!

囲碁は楽し、やっと巡り逢えた「老碁」。2年余りと日は浅いが、最近打ち方が変わったね! と今では有段者との手合いも楽しく打てるまでになった。

しかし、老いは静かにやってきている。今日覚えたこと、明日は忘失し、足腰の衰えも激しい。友人知人に感謝しながらの日々です。

顧みて 助けられし 月日かな

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

傘寿を迎えてのゴルフへの感謝と雑感

大清水校区 第一豊松会 小嶋 義雄

私は、今年で数え年80歳の傘寿を迎えました。この年で仲間と楽しいゴルフができることは、この上ない感謝の気持ちでいっぱいです。

私は63歳で会社勤めを辞め、すぐに、大清水校区の方々と地域活動を通じて、親しく、交わるようになりました。そこで支えになったのがゴルフでした。すぐに、四G会という仲間ができました。楽しいゴルフの後は、近くのお寿し屋さんで、四方山話に花を咲かせました。この四G会では、私が一番の若輩者でした。リーダー格は、御年85歳のゴルフ仙人の化身かと思われる方で、どのような場面でも、巧みなゴルフをします。しかし、四G会の間世代の二人が、相次いで、リタイアを余儀なくされました。こんな、大きいメンバー変更はあったものの、私たちの楽しいゴルフは継続して、今日にいたっています。

私は、かねてより石原慎太郎が晩年に書き下ろした著書「老いてこそ人生」でゴルフについて語った、次の一節が大変気に入っています。それは「自分が老いを、真正面に受け止めた方が、

自らへのダメージを小さくすることができる」という一節です。私も老いに滅入ることなく、これからもヘボゴルフを続けたいと念願しています。

さて、大清水校区では、この10年ゆたかクラブ大会へ多数のチームを参加させ優勝者も出してきました。しかし近年は参加者が減少傾向です。今後は70代へも参加者を広げ楽しいゴルフを続けていきたいと念願しています。



令和元年の大清水腕自慢の面々です
「もちろん、四G会メンバーも健在でした」



私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

一週一善

玉川校区 長楽長寿会

高木 和夫

私は、前々回の吉田春秋の紙面で、90歳まで、自動車運転免許を所持したいと発表しました。認知症、実技運転、目の検査をかるくクリアして、大型、大特、自二を取得できました。これからは以前にもまして交通ルールを守り安全運転に心掛けていきます。人生最後の関門かもしれません。

同年代の友人は大勢いましたが、ほとんどの人々が亡くなり、たまに、うわさを聞けば介護施設に入っていたりときみしいかぎりです。幸い私には年下の方たちですが、カラオケの友人たちがいます。1週間に一度ですが集まって、楽しんでいます。1番年上のせいとか？むなしい気持ちになる時もあり、何か目標をもとうと考えました。若い時？30年位前

災害は忘れたころに

猛暑日が続いたので熱中症対策のため塩分と外出に注意して家の中でのんびりしていたがヒマつぶしに老人会で配る吉田春秋を見たところ、80年前の終戦と三河地震のことが書いてあった。そういえば少し前に市広報紙の特集にも載っており、それほどの大事件だったのだ!! と思いつきました。

に一日一善をしようと、しばらく続けたことを思い出し、道路のゴミを拾ったり、近所のお年寄りが困っていたら助けたり、バス停で暑い日に待っている知人を送ったり、捨て猫を保護して去勢手術に連れて行ったりしました。今は一日一善なんて無理だと思い、一週間に一善ならと思い実行してみようと決めました。あとは何をやるか？昔みたいに、やらに世話をやけば、迷惑がられ警察ざたになるかも。今、かんたんにできることはゴミ集積場の後片付けと思い、道路のゴミ拾いとともに集積場の片付けを善として取り組んでいます。週一善がいつまで続くかわかりませんが、一つの目標として頑張っていこうと思っています。

飯村校区 シニアクラブ同好会 田中 教雄

あの太平洋戦争(第二次世界大戦のうち、この海域での戦い)の末期では連合軍のB29爆撃機による焼夷空襲で多くの町が焼野原となり、広島と長崎には原爆投下され、我が国は降伏し(8月15日)、日本は今後戦争はしない!!と全世界に向け宣言した。アジア諸国が安心したのも束の間、世界はまた戦争をやりだしたばかりか

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

同じ民族が南北から睨み合ったため多くの子どもや婦女子までも戦禍に巻き込まれているのを見聞きするのは、とても悲しいことです。

三河地震から、ここを震源とすることは起きないが地震国日本では各地で地震があった。これは周期的に起きるもので、これまで何度も繰り返している。これに気付いた先祖様が石碑に記録を刻み残してくれた。これを調べた防災専門学者が驚いて警告を出した。

星空ひとりじめ

玉川校区

長楽長寿会

大木 敬一

皆さん、この題目を見て何を想像しますか？
実は私、これを新聞のチラシ広告で目にしまして、ロマンチックなキャッチフレーズなので、よく見たら新聞配達募集のチラシでした。ちょうどその時、退職して週休7日制の時期でしたので、朝の散歩のつもりで始めてみようと思いましたが、当初は体内時計が狂ってしまい慣れるまで苦しめられました。

今はもう7年目。午前1時半に起床し3時の出勤まで、コーヒーを飲みながら、認知症の予防にと昨日の出来事を思い出しながら日記を書いています。

配達はカブにまたがって山間部の農村地区を担当しています。農道を走っていますといろいろな動物に遭遇し、狸、狐、猪。鹿に遭った時にはほんとうに「しかと」されました。

この大地はプレートとともに少しずつ移動するため、境界線付近にはエネルギーが蓄積されて火山や地震の火種となるらしい？子どもの頃、この世で恐ろしいのが「地震・雷・火事・親父」だ!!近づくな…遭遇しても避難所食料水を用意するが、困ったら「桑原」と呪文を唱えて、ダメなら物陰に隠れることだ!!と教えられた。それと「禍を転じて福となす」…の格言も…。

また天気の良い日には、田んぼの真中で止まって夜空を見上げれば、満天の星で、確かに「星空ひとりじめ」状態で納得です。

そして忘れもしません、今年の7月29日、山寺に向かう途中、頭上に光の玉が夜店の提灯のように一直線に連なって山の彼方へ、ゆっくりと移動しているではありませんか。まさかUFOか、誰かドローンでも飛ばしているのかと、あわててスマホで激写しました。帰宅して家族に見せると、息子が「これはイーロン・マスクが打ち上げたスターリング衛星では」と言うので、早速スマホで検索してみると同じような映像が投稿されていたので確信しました。

最後に一句、「早起きは三文の徳」と言いますが、まさに早起きは未知との遭遇です。

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

「はだしのゲン」について紹介

福岡校区 橋良老人クラブ東みどり会

寺田 亮一

昭和20年8月15日、終戦、令和7年でちょうど80年になります。

アメリカカ兵によって広島へ昭和20年8月6日、長崎に8月9日、原子爆弾が投下された。

元は小学校2年生、8月6日学校へ行く途中、B29が上空から、高熱の白い光を発し、原子爆弾は爆発した。

広島町は見るかぎり全滅、家はペチャンコ。元は何がなんだか解らなかつた。

焼けタダれた人が、「暑いよー暑いよー水をくれー」、川へ飛び込む人、みんなが狂っているように見えた。元はやっと家に戻る。元の家も完全につぶれていた。

お父ちゃん姉ちゃん弟の3人が柱の下敷になっっている、身動きできない弟は助けたくれーと泣き叫ぶ。

その内火事が発生、元の家も燃えだした。助かった母

ちゃんと元に、早く逃げろーと父ちゃんが叫ぶ。母ちゃんは逃げるのはいやだ、皆んなと一緒にここに居ると言う

が、お腹に赤ちゃんが。

元、お母さんと一緒に逃げる。早く早く、元はお母ちゃんの手を引っ張り、泣きながら逃げた。

赤ちゃんは生まれた。が、すぐ亡くなる。お母ちゃんも原爆後遺症が進み苦しみ苦しみ、亡くなってしまった。

元はみなし児になつてしまった。悲しくても生きなければ。食べ物等は盗み、その日をしのぐ。元はいつもはだし、元も原爆を浴びている、この頃疲れがひどい、それでも命あるかぎり。元と小生同年思っている。

今、アメリカで、はだしのゲンが、英訳され多くの読者がいるとのこと。引用：「はだしのゲン」

著者：中沢 啓治

いつまでも残したい「高山の大念仏」

高山校区 東ふれあいクラブ 後藤 清司

遠州から三河地方に広く伝わる大念仏（念仏踊り）の起源は、鎌倉時代まで遡るとされています。盛んになったのは、今から450年程前の戦国時代。三方ヶ原の戦いや設楽原の戦いで多くの武将が戦死したため、徳川家康が盆に霊魂を鎮める供養を命令したからということと、合わせて豊作祈願するためと伝えられています。

今でも高山の大念仏だけでなく、浜松の遠州大念仏や設楽地区の念仏踊り、新城旧鳳来地区の放下踊り、更に豊田・綾渡の夜念仏など、数多くの地域で毎年開催されています。ただ中には、高齢化が進み後継者不足により中止せざるを得ない地域も出てきています。高山の大念仏も明治以降に、何度も中断の時期があり消滅の危機を経験しました。しかし、その都度熱心な地域の方々により復活し、毎

年盆の時期に開催し今に至っています。

高山の大念仏は、江戸時代に行われていた公的な記録が残っています。それは、江戸幕府が、全国の1年の間に行われる行事や特徴ある風俗習慣を調べた「諸国風俗間状三河国吉田領答書」という記録です。このなかには、現在でも有名な、八町神明社の鬼祭りや吉田神社の祇園祭りなども紹介されており、江戸時代においても地域を代表する伝統行事となっていたことが分かります。

このように、歴史的にも重要な郷土民俗芸能を、高山大念仏保存会により現在も続けられているのは高山の誇りです。



会員文芸

俳句



◆大清水校区 第一豊松会

吉田城下豊川キラリ祭り映え

鈴木 正子

◆大清水校区 第二豊松会

ネギ坊主右に左に弥次郎兵衛

藤村 元司

◆福岡校区 橋良老人クラブ東みどり会

ちりとり猫スッポリと日向ぼこ

鈴木 京子

演芸に踊る姿やあでやかに

高井 宏昌

◆津田校区 西日進会

猛暑日もうしよの命をつなぐかき氷

笹野 壽

◆天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会

残月や父母の如道を行く

西川 誠

◆岩田校区 北岩田一区老人クラブふたば会

夏の夜は孫と花火の競演か

小椋かつ子

◆岩田校区 東岩田長寿会

未枯れに雨の寂しき夕暮れや

千賀 芳彦

◆大清水校区 第二きさらぎ会

秋短か終活できぬ春を待つ

花井 博行

◆吉田方校区 若波会

初詣で晴着の孫はしとやかに

河合 昭子

◆飯村校区 飯寿会

色のなき水の流れや散り紅葉

廣中 雅子

山巒のくつきり見へる初冬かな

佐野 栄子



私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

短歌

◆中野校区 中野おあしす会

夏盛り七千越えの散歩なり

明日の目覚めの爽やかなるらし

彦坂 吉尚

◆向山校区 いきいきクラブ

待ちかねた秋を楽しむ間もなく

湯気立つ茶碗に手をかざしおり

大山 栄子

◆幸校区 牧野町長寿会

金網の垣根にはうつるばらは

今を盛りに花をさかせり

宮田 建夫

◆大清水校区 第一豊松会

吉田城の石段高きそれに負け

祖父の無念お家断絶

鈴木 正子

◆大清水校区 第二豊松会

昨日今日同じ話題の喫茶店

シニアの集いあの人だあれ

藤村 元司

◆津田校区 西日進会

母の日に母が作ったかしわもち

母の年経ても思い出す

笹野 壽

◆津田校区 進誠会

年重ね老いし身体となり杖を手に

庭で迎える初の日の出を

田中 英代

◆岩田校区 北岩田一区老人クラブふたば会

二重跳びママ見てた僕できたよー

母はあわてて微笑みかえす

小椋かつ子

◆吉田方校区 若波会

100才の姉と握手の九十路

親に感謝の南無阿弥陀佛

河合 昭子

青空に真白きカールの羊雲

わらべに還り思い切り手を

岩田知津子

今は亡き人に賜ひし紅バラの

小花いくつが会話をさそふ

丸山二三四

涯て岸に「やつとかめ」なんて彼岸花

一週間も遅れて咲けり

横山 宜世

◆吉田方校区 菰口町寿会

巫女さんの前髪揺らして秋風は

神事間近の舞台摺り足

杉浦尊香子

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

川柳

◆中野校区 中野おあしす会
値か味かお米をゆらす秋の風

彦坂くみ子



ひげ面に日傘もたせるこの猛暑

彦坂 吉尚

◆津田校区 西日進会

二人酒こんな幸せ他にない

笹野 壽

◆福岡校区 小池元町虹の会

女性初の首相の腕に乞う期待

中野芙美子

◆大清水校区 柳風会

お先にと友はさっさと千の風

近藤 庸子

腹の虫遠慮もせずにグーと鳴く

平山 憲子

◆大清水校区 第二きさらぎ会

新米の美味こぞ去年より上を行く

花井 博行

◆大清水校区 第一豊松会

苦の種が肝座らせて生きる糧

鈴木 正子

鈴なりの柿を見上げて鳥になる

彦坂 昌代

雑草が田畑を泣かす休耕地

石川 重幸

◆大清水校区 第二豊松会

闇バイトラインで応募親不孝

藤村 元司

◆天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会

我が家でも手話一日単位増えにけり

西川 誠

◆岩田校区 東岩田長寿会

尾籠びろうだが便座の暖は心地よい

千賀 芳彦

◆岩田校区 北岩田一区老人クラブふたば会

親は子の目線合わして子は育つ

小椋かつ子

◆吉田方校区 若波会

カラオケで歌ふよひ年忘れ

河合 昭子

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

趣味の教室発表会

「趣味の教室発表会」を開催します。
ぜひお出かけください！

【開催予定一覧】

※令和8年1月8日時点

ブロック名	開催日程	開催場所
牟呂ブロック	令和8年2月7,8日(土日)	牟呂地域福祉センター
大清水ブロック	令和8年2月21日(土)	大清水地域福祉センター
高師ブロック	令和8年2月26日(木)	高師老人福祉センター
石巻ブロック	令和8年3月7日(土)	石巻老人福祉センター
大岩ブロック	令和8年3月14日(土)	大岩老人福祉センター



- 校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します
(写真を添付いただく場合はきれいなものをお願いします。)
- 原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつでお願いします。
- 原稿は、市内在住の市老連に加入している方に募集しています。必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。
- 紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。
- 締め切り／5月22日(金)
(例年より締切が早いです)
- 投稿先／ゆたかクラブ豊橋事務局
(豊橋市今橋町1番地・豊橋市役所長寿介護課内)

TEL 0532・51・2337

原稿募集

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございます。広報文化部では、皆様方のご意見・投稿などをお待ちしております。
今後も読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。

ゆたかクラブ豊橋 広報文化部

●ご協賛各位への御礼●

本紙発行にあたりまして、ご協力いただきましたスポンサー各位に厚く御礼を申し上げます。「吉田春秋」は会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行しています。今後とも倍旧のご厚誼・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています